

古文書のデジタル化及び活用

前田和弘 / 生涯学習課 / 任期：令和5年4月～（2年目）

ミッション 内容

- ・市内に保存されている古文書等の歴史資料の整理収集、デジタル化、解読作業。
- ・整理済みの古文書の公開、閲覧の対応。
- ・デジタル化した資料を活用したイベント、講座等の企画実施。
- ・伊那市の歴史や文化の魅力発信。

令和6年度 おもな 活動成果

- ・ 第一回：古文書解読コンテスト
- ・ 産官学の包括連携協定の締結

来年度

- ・ 第二回：古文書解読コンテスト



古文書の活用事業をやるにあたって、 最大の効果、価値を生み出す方法は？

- ・ まず、資料を全国の人が扱いやすい形にする。
（オープン化、デジタルアーカイブ化）
- ・ その上で、全国区で資料の活用を促す仕組みを作り、
全国の学術関係者や愛好家を巻き込んで、広く話題
づくりをしていく必要がある。

オープン化、デジタルアーカイブ化について

調べたところ、地方自治体が運営しているデジタルアーカイブがうまくいっているケースが見当たらない

- ・ 問題 1：ランニングコストが高い
- ・ 問題 2：作ってもほとんど利用されない

お金がかかって利用されないものは打ちきりの対象になる。

3つの解決策：

- ・ 外部の研究機関と学術研究の枠組みを作り、ランニングコストをなくし、持続可能にする
- ・ 翻刻プラットフォームを利用し、翻刻を推し進める
- ・ コンテストを開催し、全国的な注目を集め、利用者を増やし、翻刻スピードを加速させる

DA 分野で日本を
牽引する二つの
研究組織と連携

みんなで翻刻
翻刻プラットフォームの提供
古文書解読コンテストの開催

三者それぞれが
プラスになる
産官学連携の
仕組み作り

(約 11 か月)

**合同会社
AMANE**
AMANE Archives の
提供・データ公開支援

古文書解読
コンテスト
事務局

伊那市
古文書資料の
デジタル化・提供

9/30：産官学の包括連携協定を締結



10/5：古文書解読コンテストスタート



期間：2024/10/5 ～ 2025/1/31（約4か月間）

賞金：総額 20 万円



私の仕事：

- ・産官学連携の仕組みづくり、取りまとめ
- ・古文書解読コンテストの企画・立ち上げ・運営
- ・公式 Web サイトのデザイン・制作・運用
- ・各イベントの企画・運営・登壇
- ・公式ポスター、チラシのデザイン、制作
- ・公式 SNS の運用
- ・古文書資料データの選定・整理・修正・加工等
- ・プレスリリースの作成 などなど ...

結果：

全国111名がエントリー

翻刻完了文字数

158万文字

コンテストの効果：

全国サービスである

「みんなで翻刻」全体の翻刻文字数のうち

約41%が

伊那市の資料の翻刻

翻刻：158万文字 × 10円 = 1,580万円

PR 広告換算費：800万円

デジタルアーカイブ費：120万円（年間）

産官学連携：プライスレス（日本の最先端に
リーチ＆相談）

合計 2,500 万円程度の効果

※2/11 時点の数字です

古文書のデジタル化及び活用

前田和弘／生涯学習課／任期：令和5年4月～(2年目)



古文書解読コンテスト
オープニングイベント@高遠閣
企画・登壇
(2024/10/5)



古文書解読コンテスト
全国向け説明会@Cluster
企画・登壇
(2024/10/11)

古文書のデジタル化及び活用

前田和弘 / 生涯学習課 / 任期：令和5年4月～(2年目)



バーチャル学会論文発表@Cluster
アバター制作・参加
(2024/12/8)



日本ミュージアム・マネージメント学会
主催の学術イベント@山形県天童市
登壇
(2024/12/14)

今期の残りの予定：

- ・ 3/8 に表彰&総括イベント（ZOOM、YouTubeで配信）

来期の予定：

- ・ 第二回：古文書解読コンテスト（夏頃開始予定）

北原平蔵家、池上家の資料を提供予定